

日本原子力学会 第 143 回倫理委員会
議事録

1. 日 時：2024 年 4 月 1 日（月）15:00～17:30
2. 場 所：東京大学工学部 8 号館会議室+Zoom（ハイブリッド） ※：Zoom 参加
3. 出席者：大場委員長※，手柴副委員長，神谷幹事，伊藤(公)委員，伊藤(聡)委員※，大久保委員，
沖田委員，出町委員，中野委員※，中村委員，福家委員※，藤田委員
(委員 14 名中 12 名出席)
後藤特別委員※，佐藤特別委員

4. 資 料：

- 倫 143-1 前回議事録（案）
- 倫 143-2-1 倫理委員会活動計画
- 倫 143-2-2 倫理委員会役割分担表
- 倫 143-3-1 2024 年春の年会企画セッションに係る企画・準備について
- 倫 143-3-2 企画セッション結果概要
- 倫 143-4 （欠番）
- 倫 143-5-1 倫理規程改定に向けた検討について
- 倫 143-5-2 倫理規程改定検討シート
- 倫 143-5-3 倫理規程改定検討比較表
- 倫 143-5-4 倫理規程の記載の変遷
- 倫 143-6-1 1 F 事故調提言フォロー活用タスクフォース報告書への対応について（お願い）
- 倫 143-6-2-1 2023 年度事業報告
- 倫 143-6-2-2 2024 年度事業計画

5. 議事概要：

(1) 前回議事録について

神谷幹事から資料 143-1 に基づき説明があり、内容について特に異議はなく、了承された。

(2) 活動計画および役割分担について

手柴副委員長から資料 143-2-1、143-2-2 に基づき説明があった。主な議論等は以下のとおり。

- ・倫理研究会の実施に向けて早めに検討を進めていきたい。
- ・2025 年春の年会の企画セッションの副担当は出町委員にお願いする。
- ・技術倫理協議会の予定：第 123 回 4/23

(3) 2024 年春の年会企画セッションについて

伊藤(公)委員から資料 143-3-1、143-3-2 に基づき説明があった。主な議論等は以下のとおりで、今後の検討に繋げていくこととした。

- ・よい講演をいただき、また、本音ベースに近い議論もできたのではないかな。一方、実践につながる具体論がなかったと思う。

- ・企画セッションの結果を幅広く共有する方策が必要ではないか。
- ・全体で 90 分なので、総合討論の時間がどうしても短くなってしまう。年会・大会の企画セッションのフォローアップとして研究会を位置づけて実施していくことが考えられる。
- ・結果概要について、3 名の講演者の講演要旨をそれぞれ数行程度で追記することとする。
- ・中村委員よりアンケート結果の集約状況について紹介があり、全体がまとまった段階であらためて共有することとした。

(4) 2024 年秋の大会企画セッションについて

例年提案書の提出期限が 5 月中旬なので、主担当の大場委員長と副担当の福家委員で案を作成し、メールベースで検討を進めていくこととした。

(5) 次回倫理規程改定に向けた検討について

神谷幹事から資料 143-5-1～143-5-3 に基づき説明があった。新たに提案のあった改定案については、大久保委員、出町委員及び佐藤特別委員からそれぞれ説明があった。

検討シートの作成による各委員からの改定案等抽出作業は今回までで一区切りとし、今後は、資料 143-5-3 をベースとして、憲章ごとの検討、論点で横串を通した検討を進めていくこととした。具体的には、資料 143-5-3 に対して各委員がそれぞれ、改定案への気づき、具体的文案、追加の改定案等を吹き出しの形式で追記し、適宜幹事が集約してメールベースと委員会での議論を 8 月頃まで進めていくこととする。幹事からあらためてメールでの依頼をする。

(6) その他

- ・前回委員会で承認した倫理委員会規程については、3 月の理事会で承認された旨の報告が大場委員長からあった。同規程の最終版について、神谷幹事が学会事務局から入手して、倫理委員会 HP を更新することとした（学会 HP は学会事務局で更新）。
- ・標準委員会から毎年度要請を受けて対応している標準委員会委員等への倫理教育の今年度の内容、標準委員会との調整状況について大場委員長から紹介があった。

6. 次 回:5 月下旬～6 月上旬頃に開催することとし、日程については別途調整することとした。

以上